

V. 国際連携

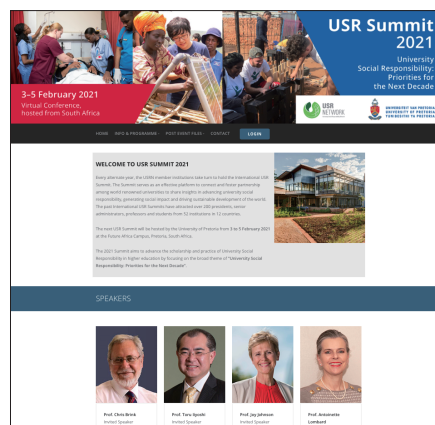
本センターでは、海外の大学教育の研究開発組織や研究者・実践者との交流・共同研究を進め、そのプロセスや成果をシンポジウム、研究会、書籍などで公開しています。

1. University Social Responsibility Network (USRN)

2021年2月3～5日に、University Social Responsibility Network (USRN)と南アフリカのプレトリア大学の共催によって、「USR SUMMIT 2021」(<https://usrsummit2021.carlamani.co.za>)がオンライン開催され、「Promoting USR Globally through Sharing Good Practice: USR MOOC and Beyond」と題する招待講演を、本センターの飯吉透センター長・教授と米タフツ大学Robert Hollister名誉教授が行いました。この講演では、本報告書のIII.2でも紹介されている京都大学と香港理工大学が協力して制作・配信を行っているMOOC「Introduction to University Social Responsibility(大学の社会的責任入門)」の概要ならびにその社会的意義について、特にUSRという大学初の世界的なムーブメントの拡大を、本MOOCを始めとして各大学が優れた取組実践事例を積極的に発信・共有していくことによってどのように推進できるか、という観点からの考察を踏まえ、実践コミュニティ形成や大学のシニアアドミニストレーター・教職員へのFD・SD等に関する今後の取組に向けた提案が行われました。

さらに、同サミットでは、「Creating an International MOOC on University Social Responsibility」と題して、本センターのSadeghvandi研究員と本学国際戦略本部のPalacio特定講師によって、本MOOCに事例を提供した本学と香港理工大学他5大学(Simon Fraser University、University of Manchester、University of New South Wales、University of Pretoria、University of Sao Paulo)との連携を通じた制作過程や、本MOOCに含まれる「COVID-19への大学の対応に関する特別セッション」の概要についても報告されました。

(飯吉 透)



2. 公開研究会:第96回「COVID時代以降のFDと学習空間—海外からの教訓—」

※本セミナーは昨年度に実施されましたが、昨年度のアニュアル・レポートには報告を掲載できませんでしたので、今年度掲載しています。

2021年3月5日に、パリ・デジタル大学(Ile-de-France Digital University)のジョン・オージェリ(John Augeri)氏を講師として、第96回公開研究会「COVID時代以降のFDと学習空間—海外からの教訓—」を開催しました。オージェリ氏のご専門は、教育・学習についての実践・ツール・環境で、パリ・デジタル大学の共同創設者であり、フランス高等教育研究・イノベーション省の専門家でもあります。2009年からパリ地区全体のFDの取り組みを動かし、2016年からは学習空間の国際比較研究を実施してられました。当時は、情報環境機構の客員研究員として京都大学に滞在中でした。



セミナーでは、海外での経験をふまえて、2つのトピックについて講演が行われました。1つは、2009年から行われているパリ・デジタル大学による地域レベルのFDの取り組みと、パンデミックに直面した2020年の間に経験した進化についての紹介です。もう1つは、学習空間の国際比較研究にもとづく、将来のキャンパス戦略における学習空間の位置づけとCOVIDの時代から創出される教育・学習実践を支援する方法についての考察です。後者では、学習空間を、フォーマル(アクティブラーニング授業用教室と講義用教室)とインフォーマル(ラーニングcommonsと学習センター)に分け、それらをつなぐ移行空間(transitional space)の必要性が語られました。

オンラインで開催され、参加者は35名でした。使用言語は英語でしたが、学内外から参加があり、活発な議論が行われました。

(松下 佳代)



3. 訪問・参加報告

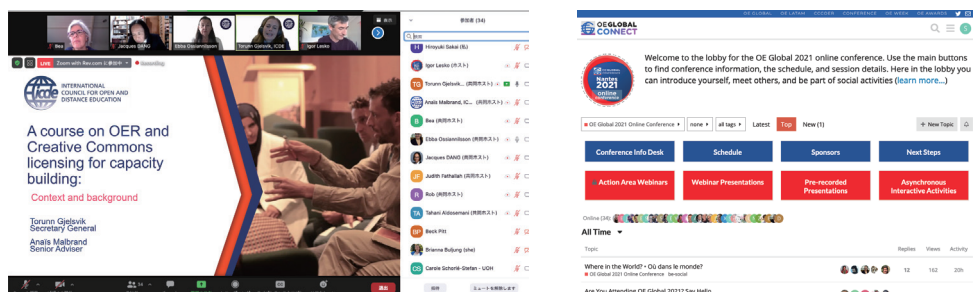
(1) OE Global 2021 Conference

会議名称	OE Global 2021 Conference (https://connect.oeglobal.org/c/oeg-2021/)
期間・場所	2021年9月27日～10月1日、オンライン開催(主催校: フランス・ナント大学)
参加者	酒井博之准教授、藤岡千也特定助教

オープンエデュケーションに関する国際コミュニティであるOpen Education Global(OE Global)*が主催するOpen Education Global Conference 2021がオンラインで開催されました。世界中からオープンエデュケーションの研究や実践に携わる研究者、教育関係者、技術開発者等、54カ国から540名の参加がありました。本センターからはオンラインで2名が参加しました。

今回のカンファレンスは、2019年にユネスコで採択されたOER(Open Educational Resources)勧告の5つの領域の1つを毎日焦点化し、オンデマンドのプレゼンテーション、インタラクティブセッションなど、約90のセッションで構成され、今後の方向性等に関して参加者間で活発な議論がおこなわれました。次回は2022年5月23～25日にナント大学で対面のカンファレンスが予定されています。

*注: 京都大学が加盟しているオープン・エデュケーション・ジャパンはOE Globalの賛助会員(sustaining member)となっています。



OE Global 2021 Conferenceより

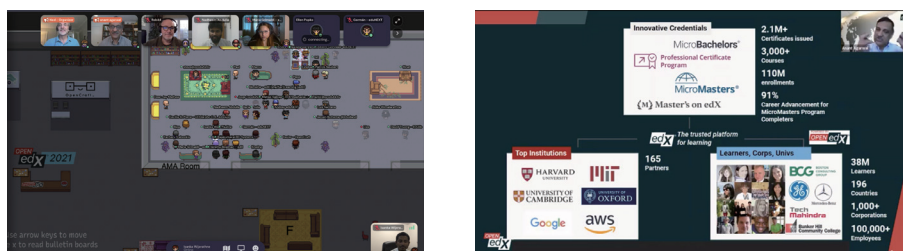
(酒井 博之)

(2) Open edX Conference 2021

会議名称	Open edX Conference 2021 (https://con.openedx.org/)
期間・場所	5月27日、オンライン開催
参加者	イサンカ・ウィジェラタナ特定研究員

Open edX* Conferenceが2021年5月27日にオンラインイベントとして開催されました。このバーチャルカンファレンスでは、主にOpen教育の未来やedXエコシステムの今後の開発に焦点を当てていました。2つの基調講演と10のプレゼンテーションがおこなわれました。また、"Loud Swarm" や "Gather Town" と呼ばれるプラットフォームを利用したネットワーキングのための人工空間での参加者の交流の機会がありました。カンファレンスの参加は非常によい経験となりました。

*注: Open edXは京都大学が加盟しているedXのオープンソース版プラットフォームで、大学のオンライン講義配信環境KoALAに採用されています。



Open edX Conferenceより

(イサンカ・ウィジェラタナ)